

触地図ガイドブックの 作成状況

——全国調査の結果

千葉県立千葉盲学校
教諭 石毛 一郎

1. はじめに

高校の地理教師から盲学校へ異動して2年目。中学校や高校の社会科教科書に触地図（「点字地図」や「触る地図」など呼称は様々）が紹介されたのがきっかけで、触地図案内板や触地図ガイドブックの普及状況を調べるようになった。

福祉のまちづくりの進展などにより触地図の作成は増加している。しかしながら、誤った内容、不統一な表記、多すぎる情報量など、依然として使いにくいものが多くみられる。また、せっかく作成された案内板やガイドブックの存在が、利用者や関係者に周知されないという課題も残されていることも分かった¹⁾。

福祉インフラの普及という観点からみれば、点字ブロックや音声システムの整備、多目的トイレや車イス用エレベーターの設置などに関しては、様々な学問分野で研究が進み、その普及状況の詳細が蓄積されてきた。それらは、自治体や関係企業においても一覧化され、冊子やホームページなどを通して利用者に提供されている²⁾。

一方、触地図に関しては、案内板の設置状況やガイドブックの作成状況などが把握されていない。筆者はこれまでに千葉県などで触地図案内板の設置状況を調査して関係機関にフィード

バックしてきた³⁾。今回は、触地図ガイドブックの全国における作成状況について調査した結果を紹介する。

なお本稿では、現地における確認情報としての触地図案内板に対して、自宅などで利用できる事前情報としての触地図を「触地図ガイドブック」と称している。

2. 調査対象と調査方法

今回と同じ趣旨で、2006年度には首都圏を対象として、触地図ガイドブックの作成状況を調べたことがある。東京都の13、神奈川県10など合計31例が作成されていることが分かった。自治体が発行したものが全体の半分以上を占め、多くは2000年以降に作成されたものであった。形状は、複数の触地図を冊子として提供したものが全体の半数以上であった。成型方法は様々だが、近年はUVインクによる触地図が多くなっている⁴⁾。

今回は全国を対象地域とした。具体的には、中央省庁の福祉のまちづくりやバリアフリーの担当部署、視覚障害者関連組織や盲学校、県や市の福祉のまちづくり担当者、交通や商業関連企業のバリアフリー担当者など約1200カ所を調査した。

調査方法は、郵送によるアンケート調査で触地図ガイドブックの作成状況を問うた。アンケートには前述の首都圏における調査結果も同封した。作成している場合には1部を寄贈してもらった。余部の無い場合には借用したり、写真を提供してもらった。また、他所での作成事例の情報提供も呼びかけ、筆者が追跡調査したものもある。これらの調査は2009年10～12月に実施した。

3. 調査結果

(1) 作成状況

調査では作成されている場合にのみ連絡（回答・返送）を求め、実物の寄贈および情報の提供は110カ所から得られた。また、「無し」の回答も180カ所から寄せられた。調査の結果、約70点の触地図ガイドブックが作成されていることが分かった（表1）。

表1 触地図ガイドブックの作成状況（2010年11月現在）

No	都道府県	名 称	発 行 者
1	北海道	千歳市内主要道路マップ	千歳市点訳赤十字奉仕団
2	北海道	北海道立十勝エコロジーパーク	北海道立十勝エコロジーパーク
3	宮城県	近隣の触地図	せんだいメディアテーク
4	宮城県	本塩釜駅周辺触知図	塩竈市民でつくる福祉マップ 作成委員会
5	福島県	福島駅	にじの会
6	東京都	品川区の触地図	品川区
7	東京都	図書館周辺の地図	都立中央図書館
8	東京都	みてふれてガイドきたく	北区
9	東京都	JR高田馬場早稲田口改良工事 の概要	東日本旅客鉄道
10	東京都	江戸東京博物館見学のしおり	江戸東京博物館
11	東京都	練馬駅・区役所周辺歩き方ガイド	練馬区
12	東京都	視覚障害者のための駅マップ 東京駅	交通アメニティ推進機構
13	東京都	視覚障害者のためのガイド ブック 営団地下鉄後楽園駅	交通アメニティ推進機構
14	東京都	吉祥寺駅の触地図	杏林大学病院
15	東京都	みんなのおでかけマップ	町田市
16	東京都	高田馬場駅周辺図	地理情報開発

No	都道府県	名 称	発 行 者
17	東京都	新宿駅西口・東口案内図	地理情報開発
18	東京都	地下鉄路線図	地理情報開発
19	東京都	国会案内 点字版	参議院
20	東京都	八王子市内主要図 他	八王子市視覚障害者用地図作成委員会
21	神奈川県	バリアフリーマップ座間	座間市
22	神奈川県	関内バリアフリーマップ触知図	横浜市
23	神奈川県	触る地図 横浜バリアフリーマップ	横浜ジェントルタウン倶楽部
24	神奈川県	横浜駅さわる地図バリアフリーマップ 他	横浜駅バリアフリーマップ作成委員会
25	神奈川県	横浜駅・川崎駅・上大岡駅・新横浜駅・平塚駅・青葉台駅 点字バスのりば案内	神奈川県バス協会
26	神奈川県	かまくら	鎌倉手で見る芸術祭実行委員会
27	神奈川県	海老名市全体図 他	みのり会
28	神奈川県	県立辻堂海浜公園	神奈川県
29	神奈川県	県立恩賜箱根公園	神奈川県
30	神奈川県	県立座間谷戸山公園	神奈川県
31	神奈川県	横須賀市立総合福祉会館	横須賀市点訳奉仕会
32	神奈川県	思いやりふれあいマップ	伊勢原市
33	神奈川県	相模原北公園内散策路と周辺図 他	相模原市点訳赤十字奉仕団
34	千葉県	本千葉駅から図書館までの道順	千葉県立中央図書館
35	千葉県	ちば駅からの簡略図	千葉県
36	千葉県	東京ディズニーランド触地図 ガイドブック	オリエンタルランド
37	千葉県	東京ディズニーシー触地図 ガイドブック	オリエンタルランド
38	千葉県	千葉県立大利根博物館	千葉県立大利根博物館
39	千葉県	千葉市中央図書館利用案内	千葉市中央図書館
40	千葉県	21世紀の森ガイドブック 他	松戸点訳会

No	都道府県	名 称	発 行 者
41	埼玉県	さいたまスーパーアリーナ 点字付き施設案内パンフレット	さいたまアリーナ
42	埼玉県	さいたま新都心マップ	さいたま市
43	埼玉県	日高ハイキングコース	日高市
44	埼玉県	富士見市触地図ガイド	富士見市
45	埼玉県	新越谷駅からの案内図 他	越谷市
46	新潟県	常設展示ガイド	新潟県立歴史館
47	長野県	視覚障害者立体地図	長野市
48	静岡県	盲人用触知 聖書立体地図	静岡改革派キリスト教盲人 伝導センター
49	静岡県	富士山こどもの国	富士山こどもの国
50	愛知県	愛地球博 点字ガイドブック	財団法人 2005年日本国際博覧会協会
51	愛知県	庄内緑地公園駅	名古屋市交通局
52	岐阜県	大垣市まちなか触図マップ	岐阜経済大学マイスター倶楽部
53	岐阜県	指と音でたどる 飛騨高山観光マップ	飛騨高山東京事務所
54	奈良県	ならまちさんさくまっぷ	奈良県視覚障害者福祉センター
55	京都府	Myマップやましな「触知図」 (山科区ガイドマップ)	京都市山科区地域福祉推進 委員会
56	京都府	布の触知図	京都ライトハウス
57	大阪府	UNIVERSAL STUDIOS JAPAN 点字ガイドブック	ユー・エス・ジェイ
58	大阪府	地下鉄駅点字構内案内 中央線・堺筋線 堺筋本町駅	大阪市交通局
59	大阪府	地下鉄駅点字構内案内 御堂筋線 本町駅	大阪市交通局
60	大阪府	地下鉄駅点字構内案内 四つ橋線・中央線 本町駅	大阪市交通局
61	兵庫県	神戸ウイングスタジアム バリアフリーガイド	神戸ウイングスタジアム
62	兵庫県	伊丹市ふれあいマップ(点字版)	伊丹ライオンズクラブ
63	岡山県	岡山後楽園	岡山県

No	都道府県	名 称	発 行 者
64	広島県	広島県庁周辺アクセスマップ 触地図	広島県
65	山口県	維新百年記念公園 いこいの広場	山口県
66	山口県	触る地図萩バリアフリーマップ	萩市
67	四国	四国	京都ライトハウス
68	徳島県	点字地図	徳島市
69	愛媛県	宇和島市点字地図	(不明)
70	沖縄県	首里城公園 ガイドブック 点字ガイド	首里城公園管理センター
71	沖縄県	海洋博公園 点字ガイド	財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団

(アンケート調査及び現地調査により作成)

同地域を対象として複数のバージョンが作成された場合や、地域の点訳ボランティア団体により同類のガイドブックが多数作成されている場合などは、便宜的に1点として数え、名称欄に「他」と併記した。

県別にみると、23の都道府県で作成されている。東京都の15点、神奈川県が13点が多く、千葉県が7点、埼玉県が5点と続く。東日本の各県で多く確認された。

発行者をみると、県や市など自治体によるものや、公立の博物館や図書館など社会教育施設によるものが多くみられた。他には、鉄道会社やバス会社、テーマパークによるもの、点訳ボランティアによる作成事例などが確認された。

(2) 地図表現

触地図が表現する地図の範囲では、かなりの広域をカバーした縮尺の小さなものから、建物内の1つのフロアをあらわした縮尺の大きなものまで様々な事例が確認された。

例えば長野市が発行した「視覚障害者立体地図」は、市内全域をカバーした地図のほかに、市内各地区毎に主要部を表現した地図が添付されている。また「^{かんない}関内バリアフリーマップ触地図」では、横浜市関内地区をあらわすとともにエリア内の鉄道駅の出口などを触地図で説明している。

静岡県が発行する「富士山こどもの国」は、公園内の各エリアを区分しながら主要な園路や施設を示している。また「地下鉄駅点字構内案内御堂筋線^{ほんまち}本町駅」では、ホームの説明に加えて各改札口への誘導を説明している。

触地図に用いられる凡例は、表現された地図情報に応じて様々であった。地図の縮尺や対象施設により共通した凡例も多くみられるが、それらの表記は必ずしも統一されていない。

ガイドブックに掲載される地図の枚数としては、1枚のみのものが最も多かった。両面に印刷された見開き4ページで構成されるタイプが目立った。しかし中には、10枚以上の触地図から構成されるガイドブックも作成されている。道路の各区分毎に50枚以上の地図を掲載したものもあった。

(3) 成型方法

触地図の成型方法は、UVインクによるものが最多であり、そのほかには、エンボス加工、サーモフォーム、立体コピーなどにより作成されていた。中には、立体コピー用の原図だけが提供されたり、スカーフのようにデザインされた布状の触地図も作成されている。

UVインクの場合、カラーで印刷された原図上にほぼ同じ大きさで触地図が描かれているものが多く、作成年次が新しいものに多くみられた。例えば「さいたまスーパーアリーナ点字付き施設案内パンフレット」では、アリーナ内のエリア区分や座席

配置、トイレの位置などを示した触地図と、アリーナの出入り口付近を詳しくあらわした触地図が掲載されている（写真1）。

エンボス加工の場合、駅構内や周辺区域をあらわしたもの、博物館や資料館などで作成されたものにみられ、触地図に加えて説明文の分量が多く、ページ数の多い冊子型の体裁が目立った。例えば「視覚障害者のための駅マップ東京駅」では、駅周辺図や階毎の乗り換え案内図などを掲載している（写真2）。

サーモフォームの場合、市役所などの公的施設内の構造を示したものや、市内の主要地点や道路を表現した触地図が掲載された事例が多かった。複数の触地図で構成され、冊子型のガイドブックが多くみられた。例えば

「伊丹市ふれあいマップ（点字版）」では、市域全体を表現した地図のほかに市内の主要地区をあらわしたエリア図を複数添付している（写真3）。

立体コピーの場合、駅などの建物内の構造や、最寄り駅から当該施設までの道のりなどをあらわしたものが主であった。比較的単純な情報で少ない枚数から構成されるガイドブックが目

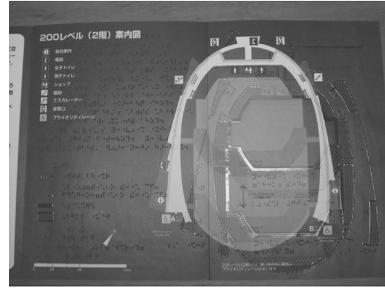


写真1

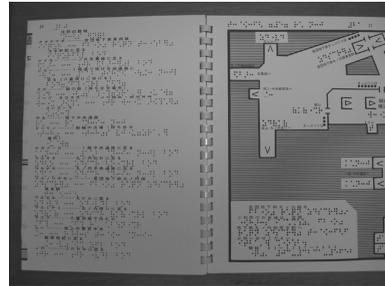


写真2

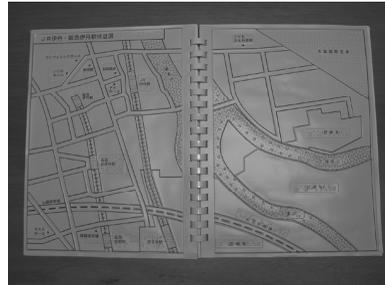


写真3

立った。例えば千葉県立中央図書館が発行した「本千葉駅から図書館までの道順」は、B5判1枚の触地図であり、道りにおける交差点や信号の配置などが示されている（写真4）。

（4）その他

ガイドブックの付属品には、CDやSPコードなどがみられた。いずれも、音声も併用することで地図情報の理解を補助するための配慮である。例えば「東京ディズニーランド触地図ガイドブック」のCDは、ガイドブックの使い方を説明したり、触地図の凡例や内容を解説してくれる。SPコードは「バリアフリーマップ^{ざま}座間」など市街地を表現したガイドブックに印刷されている。

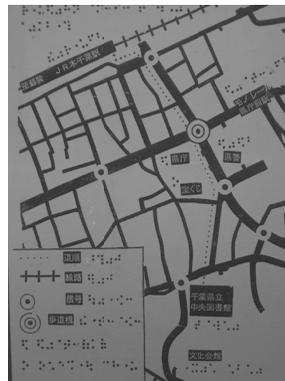


写真4

4. おわりに

触地図は後発の福祉インフラであることから、これまであまり研究対象とならなかった。今後は、作成状況の実態を調べることにより、普及状況を明らかにする必要がある。視覚障害者へのバリアフリー環境の整備を図る上で、このような基礎データの蓄積は重要である。そして同時に、調査により明らかとなった作成状況が、ガイドブックの利用者や関係者に周知されることも大切だと考える。

また、機能や特性に関する検証も欠かせない。点字誘導ブロック、エレベーター、トイレなどの設備に関しては、利用者となる高齢者や障害者を含めて製作や実験が繰り返されている。最近では、各設備の企画から製作・設置に至るまですべての工

程に利用者が参加する「当事者参加型」の事業形態も見られるようになってきた。今後、触地図ガイドブックに関しても、設置者・製作者・利用者・研究者らによる相互的な検証作業が必要となる。

触地図の作成方法や様式・表記に関する規格化も進んでいる。正確な点字表記や全国的な表記の統一を目指す取り組み、触地図の表示方法や情報内容について基準を設定する議論が進んでいる⁵⁾。今後のさらなる進展に期待したい。

※本調査には、平成21年度国土地理協会学術研究助成金（地図・地名に関する学術的調査・研究部門「触地図ガイドブックの作成状況に関する調査、及び所在情報の共有化」）を利用した。

【注】

1) 国土地理院地図管理部『視覚障害者用地図に関するアンケート調査報告書「全国の盲学校を対象」(要約編)』国土地理院、1995年

八十島義之助『アメニティターミナルにおける旅客案内サインの研究 平成8年度報告書』財団法人交通アメニティ推進機構、1997年

日本盲人社会福祉施設協議会点字出版部会『視覚障害者の安全で円滑な行動を支援するための点字表示などに関するガイドライン』日本盲人社会福祉施設協議会、2002年

2) 宮澤仁「バリアフリーマップの現状と下肢不自由者の情報要求からみたその有用性」『地図42(3)』日本国際地図学会、2004年

3) 石毛一郎「徳島県における触地図案内板の設置状況」『徳島

地理 6』徳島地理学会、2003年

石毛一郎「触地図ガイドブックの作成状況——首都圏域において」『地理学研究報告18』千葉大学大学院自然科学研究科、2007年

4) 石毛一郎「千葉県における触地図案内板の設置状況」『地理学研究報告21』千葉大学大学院自然科学研究科、印刷中

5) 日本盲人社会福祉施設協議会点字出版部会、前掲、2002年
JIS「高齢者・障害者配慮設計指針——触知案内図の情報内容及び形状並びにその表示方法」など

ピアサポート株式会社「触知図作成のためのガイドライン」、2006年

日本点字図書館 用具事業課

パームピーラー

パームとは英語で手のひらを意味し、その名の通り、手のひらにつけて使用する、今までにはなかった全く新しい発想のピーラーです。

四角い煎餅のような薄い板の裏に刃がついていて、表には指を通すための輪がついています。反対側の手で板の両端を持って、中指を輪の奥まで通すと、ピーラーが手のひらにぴったりと納まります。

食材をなでるように皮を剥いていきます。刃が中指の下についているので位置が把握でき、安全に使用することができます。ハンドルがないため収納場所をとりません。芽取り付き。



大きさ：(幅)60×(奥行)60×(高さ)3mm
メーカー：シェフン社 (アメリカ)
販売元：貝印株式会社
価格：1,575円 (税込)

TEL03-3209-0751/FAX03-3200-4133
<http://www.nittento.or.jp/YOUGU/index.htm>
E-mail yougu@nittento.or.jp